

第66回新発田市入札監視委員会審議概要

開催日時及び場所	令和8年2月18日（水）午後3時30分～午後4時30分 新発田市役所5階 会議室501		
内 容	<p>・ 議事</p> <p>(1) 抽出工事等の審議について</p> <p>(2) 第67回委員会開催に伴う抽出委員の指定について</p> <p>(3) その他</p>		
委 員 (委員数5名) (出席数5名)	<p>委員長 若槻 直大 (弁護士) (出席)</p> <p>委員 宮村 茂 (税理士) (出席)</p> <p>委員 丸島 宏太 (大学教員) (出席)</p> <p>委員 佐藤 恭子 (公募委員) (出席)</p> <p>委員 大橋 京子 (公募委員) (出席)</p>		
審議対象期間	令和7年9月1日～令和7年12月31日		
抽出案件	10件（対象工事総件数66件）		
制限付 一般競争入札	9件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下単第14号 新発田北部処理分区（21-9-1他）管渠工事 ・ 下補第4号 新発田北部処理分区（h317-1他）管渠工事 ・ 農三補第4号 農集排三光処理場電気設備更新工事 ・ 舗新第14号 溝足線舗装工事 ・ 国補橋修第1号 滝大橋修繕工事 ・ 建公第2号 カリオンパークびいどろ排煙設備改修工事 ・ 配水第8号 虎丸増圧ポンプ場制御機器更新工事 ・ 改整第12号 給水塔設置工事 ・ 改整第9号 加治川水管橋改良工事 	
公募型 指名競争入札	0件		
通常 指名競争入札	0件		
随意契約	1件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配路第1号 舗装本復旧工事 	

委員からの意見・質問、 それに対する回答	別紙のとおり
委員会による意見の具 申内容	特になし
その他	傍聴者 2名

意見・質問	回答
<p>1 開会</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 抽出工事等の審議について</p> <p>① 第2三半期の契約等の状況</p> <p>契約状況について質疑なし。</p> <p>② 随意契約案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配路第1号 舗装本復旧工事について、随意契約とあるが予定価格と契約金額が同じにならないのはなぜか。 ・事業者の見積りが適正か市は把握できるのか。 <p>③ 一般競争入札案件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下補第4号 新発田北部処理分区（h317-1他）管渠工事について、低入札調査基準価格と落札業者の金額が一致している。低入札調査基準価格は事前公表なのか事後公表なのか。なぜ7715万円という、1万円単位の端数が生じている金額について、落札後に公表した低入札価格調査基準価格と入札金額が完全に一致しているのか疑問に思った。2番目に安い金額が8128万円であるが、落札業者の入札金額のとの差が約5%に相当し、2番目から4番目の業者の金額がみんな同じような金額であり、目についたので指摘する。 	<p>事務局から資料に基づき説明</p> <p>随意契約ではあるが、予定価格を事前公表しておらず、最終的な見積額をもって契約している。そのため、予定価格と契約金額が同じにならない場合もある。</p> <p>舗装工事は、施工箇所の施工延長や面積等が判明していれば積算は比較的容易である。また、市及び事業者は、市が作成した同じ単価抜き設計書で積算をし、見積額や予定価格を算出しているため、見積りが適正であるか把握できる。</p> <p>低入札調査基準価格は契約後に公表している。確かに1者だけ安い金額となっているが、電子入札を行っており、結果的にこのようになったものであり、設計の精度が上がっていることは間違いない。</p>

意見・質問	回答
<p>・舗新第14号 溝足線舗装工事について、他の舗装工事では落札率が88～90%ほどで推移している中、本案件の落札率が100%となっている点に注目した。参加申し込みは2者あったものの、結果的に1者のみの入札となったようだが、これは公正な入札と言えるのか。合わせて、なぜこのような（落札率100%という）結果になったのか、具体的な理由について説明を求める。</p> <p>・今年度発注の舗装工事が例年より多いとのことだが、理由はなにか。</p> <p>・かなり短期間で施工のようだが、工事は終わったのか。</p> <p>(2) 第67回委員会開催に伴う抽出委員の指定について</p> <p>(3) その他 第67回委員会開催日程について</p> <p>3 閉会</p>	<p>本案件は、10月15日に公告を行い、10月31日に入札を執行した。施工箇所が山間部に位置することから、冬期の積雪を考慮し、極めて短期間で施工を完了させなければならない状況にあった。加えて、今年度は舗装工事の発注数が前年度と比較して12件増加しており、舗装業者の業務負担が増大していた。このような背景から、積極的な受注を控える傾向にあったと考えられる。また、舗装工事の積算が比較的容易であるという特性もあり、予定価格での入札に至ったものと推察される。</p> <p>入札執行については、最終的に辞退者があり、結果として1者のみとなったが、当市では電子入札システムを用いた一般競争入札として実施しており、公正性は十分に確保されている。</p> <p>下水道課が発注する下水道管渠工事は、仮舗装で工事を終えており、本復旧する工事を舗装工事として行っている。その下水道管渠工事を昨年度より繰越して実施したため、一定期間に発注が集中してしまった。</p> <p>マネジメント不足として反省し、改善したい。</p> <p>当初の設計では分からなかった追加工事が発生しており、工期を延長して対応している。</p> <p>第67回委員会の抽出委員は、丸島委員とする。</p> <p>第67回委員会は、令和8年6月24日に開催する。</p>